

今月のコンテンツ

- 第92回日本産業衛生学会からのご報告
- 第23回日本医療情報学会春季学術大会シンポジウム2019 in 熊本からのご報告
- 今月のお知らせ
- (広報担当) 参加報告に代えて

構成学会の総会からのご報告

第92回日本産業衛生学会 開催報告 『現場への貢献！ ～人、企業、社会を支える～』

第92回日本産業衛生学会企画運営委員長
 大同特殊鋼(株) 統括産業医
 斉藤政彦



第92回日本産業衛生学会は、東海地方会の担当で、2019年(令和元年)5月22日から25日まで、名古屋国際会議場にて開催された。今回は第30回日本医学会総会(4月27日～29日)に合わせての開催であった。メインテーマを『現場への貢献！ ～人、企業、社会を支える～』とした。産業衛生学は実学で、実際の産業現場に役立って初めて価値がある。職場における疾病に関わる有害因子を取り除いて、労働者の健康を保持増進する、さらにそれを通して企業の発展へ寄与し、日本社会全体を支えることが、学会の使命と考え、このテーマにした。

当日は、真夏日を記録する少々暑いほどの好天の下、一般有料参加者数が4,700名を超え、さらに名誉会員や国際交流企画などの招待者、市民公開講座への無料参加者などを加えると、総数五千人を超えた。大きな問題もなく盛会に終わったことに、関係者には深く感謝を申し上げる。

内容としては、一般演題が583、企画プログラムは、基調講演1、教育講演9、特別講演7、シンポジウム18、パネルディスカッション7、フォーラム7、特別プログラム5で、他に、他学会との合同企画として日本精神神経学会との合同シンポジウム、さらに国際交流の一環としてアジアから若手研究者を招いてシンポジウムを開催した。社会医学系専門医制度に関連する内容としては、①社会医学系専門医基本必須プログラム、②専門医制度委員会、③社会医学系専門医・指導医講習会、④専門医制度委員会説明会、⑤産業衛生専攻医試験が実施され、多くの方が参加し、社会医学系専門医制度が今後、より充実していく予感を持った。

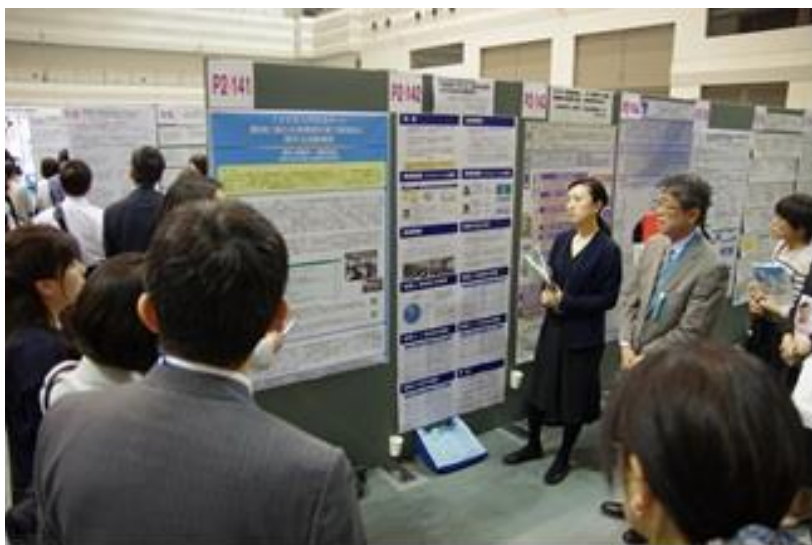


名古屋国際会議場のシンボル、レオナルド ダヴィンチの『幻のスフォルツァ騎馬像』

今回は、現場の産業医が、企画運営委員長、事務局長、実行委員長を担当した。初めてのことであり、特徴的な企画としては、JR東海の柘植会長、トヨタ自動車の河合副社長、三菱重工の二村取締役など、大企業の経営の中核で活躍されている方々に、普段聞けない貴重なご講演をしていただいた。その他、どのプログラムも現場へ役立つ内容で、メインテーマに沿ったものだったと考えている。また、懇親会では、ひつまぶしやきしめんなどの名古屋メシをご堪能いただき、最優秀演題賞の発表と表彰、国際交流企画のアワード授与などを行った。

さて昨今、産業現場では、労働者や職場環境が大きく変化している。雇用の流動化やダイバーシティーマネジメントの促進、さらに今後は外国人労働者の急増が予想される。一方で、テレワークの推進、AI（人工知能）やロボットの進出なども目覚ましい。これらの変化は急激で、遠くない将来、仕事や労働、職場といった基本概念が大きく変わる可能性を示している。一方で『健康経営』がブームとなっており、従業員の健康を重視する機運が広く社会へ浸透しつつある。

そんな中、産業保健スタッフの業務は、過重労働対策、ストレスチェック（メンタルヘルス対策）、化学物質管理、病気と仕事の両立支援など、増加の一途をたどっており、さらに働き方改革関連法の成立に伴い、労働安全衛生法が改正され、産業医・産業保健機能の強化が図られる。それらの活動をエビデンスでもって支える産業衛生学の社会的役割は、この先間違いなく増大するであろう。中でも指導的立場にある社会医学系専門医、産業衛生専門医は、大いにその活躍が期待される。ただし、まだその認知度は高いとは言えず、解決すべき課題も多いという印象を持っている。また資格取得によって得られるメリットが明確になることも、制度そのものの発展には欠かせないと思う。日本産業衛生学会を初め、関係各団体が、鋭意議論し、工夫して取り組むべき課題と考える。そんな中で、今回の第92回日本産業衛生学会が、少しでもそのお役に立てたのであれば、この上ない喜びである。



ポスターセッションでの発表の様子

構成学会の総会からのご報告

 「第23回 日本医療情報学会 春季学術大会シンポジウム 2019 in 熊本」
 開催報告


大会長

 熊本大学病院医療情報経営企画部長
 熊本大学大学院医学教育部医療情報医学講座教授
 宇宿 功市郎

このたび、第23回日本医療情報学会春季学術大会を2019年6月6日(木)から8日(土)に、熊本市の市民会館



シアーズホーム夢ホール(熊本市市民会館)において開催いたしましたので報告をさせていただきます。

今回の学術大会のテーマは、「IoT、AI の活用で健康/疾病状況の把握と医療現場の支援を」としました。近年の情報通信技術の進歩は大量のデータ収集と解析を可能とし、医療機関での診断・治療の場面以外にも健康や疾病の情報を得ることを容易としています。疾病の多くは突然に起こるものではなく、多くのものは様々な要因が長期間にわたって影響し、発症に至ることがわかっています。ただ、どの時点の影響や要因が長期間経った後の疾病に至るについては、まだまだ不明な点が多くあります。通信環境の整備、携帯情報端末の進化、IoT デバイス等を活用した生体情報取得技術の進展により、これまで以上に精緻な情報を個々の患者予備群の方々や患者さん方から長期に渡り収集することが可能となっています。これらのデータは大量、複雑で多岐に渡るため、従来の手法に加え AI 等を活用した新たな取組が求められています。大量情報の解析から新たに得られる情報は疾病の予防、治療成績向上に役立つばかりでなく、医療現場での診療支援、医療安全、医療の質向上に繋がるものと考えております。このように IoT、AI の活用は医療における情報の量を増すとともに、質や安全性の向上に

も大変有用となることが期待されています。

大会長講演、特別講演2題、大会企画4企画、参加者1,200名弱で盛会に開催できました。詳細は大会ホームページ等をご参照頂ければと存じますが、医療情報学会学術大会では日本医師会との共同企画を行っており、今回



は「医療の個人情報の利活用と保護～個人情報とプライバシーの違い～」と題してのシンポジウムを行いました。個人情報保護の成立の時点からの問題点を明らかにし、医療、医学系研究では現行の取扱いとは別の方法での取扱いが必要なことが議論されました。次回の学術大会での議論も予定されています。

次回「第24回 日本医療情報学会 春季学術大会」は、2020年6月4日(木)～6月6日(土)に、一般財団法人医療情報システム開発センター 渡邊直先生を大会長に、つくば国際会議場で開催されます。多くの先生方のご参加をお願いしております。

今月のお知らせ

事務局の移転について

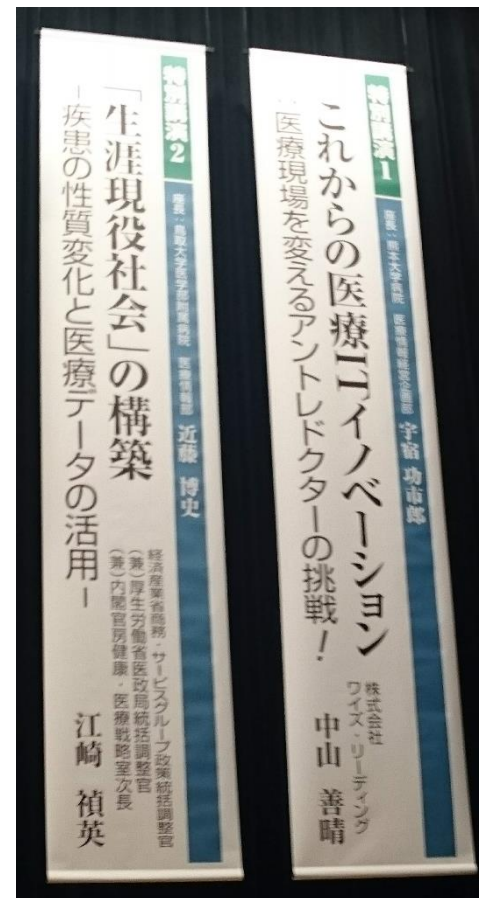
社会医学系専門医協会の事務局は、令和元年7月1日から下記のとおりに移転いたします。

運営事務局名：一般社団法人 学会支援機構

住 所：〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階

連絡先 :Mail : senmonshakai-officeumin.ac.jp (変更はありません) / FAX : 03-5981-6012

今後ともよろしく願いいたします。



第2回（2020年度）専門医認定試験受験希望者を対象とした受験資格事前審査について

第2回専門医認定試験（2020/9/13 実施予定）の受験にあたり、経過措置による受験（専攻医に登録されないでの受験）を希望されている方を対象に受験資格事前審査を行います。

<受験資格事前審査>

対象者： 経過措置による受験（専攻医に登録されないでの受験）を希望される方
2020年4月1日現在で、医歴5年以上、初期臨床研修（または同等の経験）修了後、社会医学系活動が3年以上の者で専攻医の登録をされていない方※専門医認定試験の受験資格は「専門医認定試験実施要項（HP版）」（お知らせ2019年5月9日）をご覧ください。※基本プログラムの受講確認については「専門医認定試験の受験資格等での基本プログラムの受講確認について（改訂）」（2019年3月）をご覧ください。

申請方法： 受験資格事前審査申請書をダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送にて社会医学系専門医協会事務局までお送りください。受験資格事前審査申請書（WEB参照）

申請締切： 2019年8月30日（金）必着

審査料： 10,000円（下記口座へお振り込みください）
※受験資格事前審査申請書の提出と審査料の入金確認後、審査を行います。

審査結果： 2019年10月頃に郵送にて結果をお知らせいたします。
審査で受験資格が認められた方には、別途、社会医学系eラーニング・コンソーシアム事務局から、ID、パスワードが通知されます。
(E-ラーニングでの基本プログラム等の受講が可能です。)

送付先： 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階
一般社団法人 社会医学系専門医協会事務局「受験資格事前審査」係 宛

振込先： 郵便振替
口座記号番号：00120-9-696959
口座名義：一般社団法人 社会医学系専門医協会
口座名義カナ：イッパンシャダンホウジン シャカイイガクケイセンモンイキョウカイ
※振込元の名義は、個人名での振込としてください。

参加報告

第30回日本医学会総会 in 中部

 業務執行理事
 川崎医科大学衛生学
 日本衛生学会
 大槻剛巳


少し以前になりますが、2019年4月27日に名古屋国際会議場にて第30回日本医学会総会 in 中部の開会式もあり、加盟している学会(日本衛生学会)の立場で参加してきました。開会式のセレモニーは、名古屋市立大学を卒業されて医師免許も持たれている日本の JAZZ SAX player の浜崎航さんのクワルテット!! 今、一番、旬の player です、素晴らしい演奏でした。これだけでも参加の価値ありでした。

今回の医学会総会では、学会宛に、ポスターの作成とともに、可能であれば、動画でも各学会の PR を兼ねた映像を届

けてほしいという話がありました。日本衛生学会では、どちらも作って事務局に送っていました。ポスターは、多くの学会が展示されていました。そして動画ですが、想定よりも少なく、写真にあるような 2 モニターが 1 つになったパネルがあって、1 モニター当たり、2 学会分を繰り返し放映している感じでした。日本衛生学会は、日本産科婦人科学会と同じモニターで、隣では、日



本生化学会

と日本薬理学会のモニターが流れていました。自分の PC で、過去の un-official songs の映像と、ポスター展示の画像を組み合わせただけで、ナレーションも何もないものですが、お申し出に合わせて提出して、参加することに意義があるつもりで、提出したのです。その後、ほぼ同時開催だった日本内科学会の方にも、少し参加するために、強風の名古屋港にも立ち寄りました(日本内科学会はポートメッセなごやだったのです)。